

レッスン動画制作 テンプレート

©Copyright 2023 Ritsu Munakata

1.レッスン動画のコンセプト

項目	メモ欄	チェック欄
どんな生徒に向けたレッスン動画か？ →レッスン動画のターゲット		
ターゲットが解決したい悩みは何か		
レッスン動画はターゲットにどのような変化(上達)を提供できるのか →レッスン動画の提供するメリット		
レッスン動画の内容は本当にターゲットが必要としているものか？ 講師側の自己満足となっていないか？		
レッスン動画のスタート地点とゴール地点はターゲットの状況と合致しているか？		

2.レッスン動画の構成

項目	メモ欄	チェック欄
生徒に伝えたいことを箇条書きですべて書き出し項目ごとに類別する		
項目を並べ替えて体系化する →内容の不足・欠落もチェックする		
すべて言語化できているかチェック →感覚的な表現はできるだけ減らす		
項目ごとに生徒に向かって話すように口に出して説明してみる →各項目の時間を計測し記録する		
1本の動画が60分～30分程度に収まるように項目を分割もしくは合体させながらレッスン動画を章立てする		
各章にタイトルをつける →生徒に分かりやすいか？ →成果に繋がりやすい順番か？		
各章の台本を立ち上げる →収録時に読み原稿が必要なら原稿 →読まない場合は構成台本		

3.レッスン動画の撮影

項目	メモ欄	チェック欄
撮影環境 →長時間撮影と音出し可能な自宅部屋 →同スタジオや音楽練習室 →背景となる壁の確認(含GB)		
服装 →清潔感あるきちんとした服装 →音楽家らしい演出 →ヘアセットや化粧		

項目	メモ欄	チェック欄
照明 →顔が暗くならない →過度の影が生じない →簡易な撮影用LEDライト (通常の机上LEDライトでも代用可) →部屋の照明も活用		
撮影機材 →スマホ可(スマホスタンドは必須) →高性能カメラがあれば望ましい (データが重いと不便な場合もあり)		
画面構成 →縦長・横長の選択 (スマホ撮影・スマホ視聴なら縦) →編集時にスライドを入れる場合はそのスペースを空けた画面構成で撮影		
音声(言葉や通常の音楽録音) →スマホのマイクでも生徒に伝わる →スマホにコンデンサマイクを接続できればさらに望ましい(ただし事前にマイク使用の有無で音質比較は必須)		
音声(デリケートな音楽録音) →相応の音響のホール等もしくは設備の整ったスタジオ等で収録 →自撮りの場合はマイク、コンバーター、音楽編集ソフトなどが必要。外注が確実に楽。 →費用もかかるので、レッスン動画だけではなくプロモーション全体に必要な録音をリストアップして効率よく録音を行うことが望ましい。		

4.レッスン動画の編集

項目	メモ欄	チェック欄
編集アプリの準備 →スマホ用無料アプリCapcut →PC用はパワーディレクター(有料)等		
各章ごとにタイトル画面を作成 →静止画可 パワポ等でも充分 →動画編集アプリを活用すれば動きのあるタイトル画面も作成可能		
撮影した動画群から使用箇所をピックアップして繋ぎ合わせる →はめ込み合成なども可能		
スライドが必要な場合は静止画を作成して編集ソフトで組み込む		
テロップ入れ →オートテロップ昨日でベースを作成 →誤変換を手作業で訂正・校正		

5.レッスン動画の渡し方

項目	メモ欄	チェック欄
動画データを渡す →生徒の安心感が高い →成約直後に商品を渡せる →改訂・追補が不便 →生徒の通信環境によってはダウンロードが困難な場合あり		
オンラインで視聴可能とする →成約直後に商品を渡せる →改訂・追補が簡単にできる →講師は動画の継続管理が必要		
DVD等のパッケージで渡す →生徒の安心感が高い →パッケージ周りの制作が必要 →改訂・追補が極めて不便 →スマホでそのまま見られない		